

平成 19年度アウトソーシングアクションプラン

様式 1

(部局名 文化環境部)

1. 部局としてのアウトソーシングの方針 (重視する効果や、大きな課題などを主題にしてください)

1 行政経営の方針の実現に向けて政策の方向づけを行うため既存業務の洗い出しを実施する。< 目標 H19年9月末 >

【各課共通ミッション】

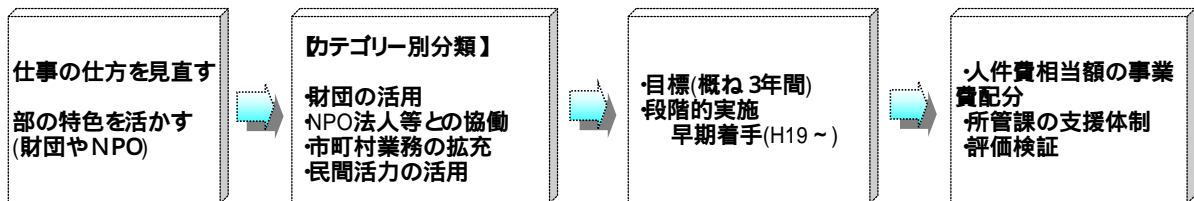
【観点】

- (1) 直営により取り組む業務(コアコンピタンス)
- (2) NPO、市町村、県民、財団等関係する団体等が主体的に担うことが望ましい業務
- (3) 市町村や民間等が行う事業を支援していく業務

反映

組織再編(スリムで効率的な組織体制)
次期経営方針の策定
予算編成(選択と集中)

2 個別具体の検討



3 目標設定及び年次スケジュール(抽出)

カテゴリー	業務名等	目標等	平成19年度	平成20年度	平成21年度
財団の活用	高知県国際交流協会(国際交流課)	役割に応じた業務の遂行 < 県の役割 > 交流、方針策定 表敬訪問や姉妹交流 市町村との連絡調整等 < 協会の役割 > 民間交流団体の育成や調整 イベント事業その他実働部門	協議 検討 [委託に向けた試行開始]	第1ステップ(一部先行委託) 海外技術協力推進事業 青年海外協力員関係等を検討	第2ステップ(委託)
NPO法人等の活用	環境活動支援センター(温暖化防止活動推進センター) (循環型社会推進課)	アウトソーシングの受け皿として拡充 環境教育や環境学習 民間での温暖化防止の推進拠点 + 循環型社会づくり 清流保全 広報等	アウトソーシングWG (体制 受託事業 etc の検討)	第1ステップ(追加委託) ・ライセンス認定関係 ・環境白書等を検討	第2ステップ(追加委託) 段階的に環境 課が所掌する業務のOSを実施する。
市町村拡充業務の	重点地域の許可業務(清流 環境課)	四万十川条例に基づく重点地域の許可制度にかかる権限移譲の推進 流域市町全体に許可制度の運用に関する権限を移譲する。	H18.10 - 標原町 関係市町と協議 協議の整った市町から順次権限の移譲を行う		
民間活力の活用	女性の自立支援促進業務(男女共同参画 NPO課)	民間のもつ専門性の活用 ・民間のもつ専門性やノウハウの活用によるサービスの向上 ・業務間の柔軟な職員配置等による入所者の処遇の向上	9月補正予定 [プロポーザル] [発注 契約]	業務運営	
	NPO法人の認証等業務(男女共同参画 NPO課)	民間のもつ専門性の活用 ・NPO法人の認証に係る相談業務や事業報告の点検確認業務を民間業者に委託する。	事業報告点検確認業務委託 検証 評価 検討	認証に係る相談業務及び事業報告確認業務の委託 設立及び活動に関する相談対応	
	分析 検査業務(環境研究センター)	民間のもつ専門性の活用 水質や大気に係る各種分析 検査業務を民間業者に委託する。	業務見直しに向けた検討会の実施 [課題 検討] 精度管理、危機管理に係る機能代替(大学や民間企業との連携) 技術職の専門性の維持、向上(大学や民間企業への派遣)	委託業務の追加	

2. これまでの状況 (スリム化分を除く)

現実実施計画でのアウトソーシング率		7.4%
H17~18 発注済件数	アウトソーシング 推進関連	4件
	地域版アウトソーシング	3件
H19 予算件数	アウトソーシング 推進関連	6件
	地域版アウトソーシング	6件